

平成23年5月20日

平成23年度 コンビナート連携石油安定供給対策事業（補助事業）
の選定結果について

石油コンビナート高度統合運営技術研究組合
(RING)

石油コンビナート高度統合運営技術研究組合は、このたび経済産業省からの補助金に係る平成23年度「コンビナート連携石油安定供給対策事業」について、補助金交付対象となる事業を選定しました。公募期間中（平成23年3月31日から4月19日まで）に応募があった事業を対象として、石油コンビナート高度統合運営技術研究組合内に設置した学識経験者等の有識者からなる審査委員会の厳正な評価及び審査を経て決定したものです。詳細は、下記のとおりです。

記

1. 事業概要

コンビナート連携により、石油精製業を中心とする連携設備の効果的設置による拡大融合を促進して製油所の競争力を強化するとともに、石油資源の有効活用を図り原油処理量を減らすことを通じ、エネルギーセキュリティを確保するための事業について必要経費を補助します。

(1) 対象事業と実施期間

- ・対象事業：原油処理量の削減、製油所における主要製品の製造コストの削減等、各地区石油コンビナートの特長ある展開を目指す事業
- ・実施期間：平成23年度の単年度事業、又は複数年度事業

(2) 対象事業者

石油精製業同士、又は石油精製業と連携した業種で構成する複数事業者を対象

(3) 補助率

補助対象経費の1/2を上限として補助

2. 補助対象事業の選定

審査委員会において、応募書類を評価項目に基づいて審査し、補助対象事業を選定しました。なお、審査に当たって、応募事業者への直接の聴取や現地調査を実施しました。

(1) 審査委員会メンバー

委員長 橘川 武郎 一橋大学大学院 商学研究科 教授
 委員 菊地 英一 早稲田大学理工学術院 応用化学科 教授
 委員 及川 洋 経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部 石油精製備蓄課長

(2) 審査に係る評価項目

以下の評価項目に基づいて、審査しました。

区分	評価項目	評価基準	
		基礎点	加点
1. 政策的意義	補助事業目的との合致	応募事業が補助事業目的、趣旨に合致している	石油安定供給、特長あるコンビナートの展開等への貢献度
2. 事業内容	効果：原油処理削減量	原油処理量の削減が見込まれる	原油処理削減量の大きさ
	効果：単位事業費当たりの原油処理削減量	単位当たりの原油処理削減量が算出できる	単位事業費当たり削減量の大きさ
	効果：製造コスト低減率	製造コストの低減が見込まれる	製造コスト低減率の大きさ
	費用対効果	費用対効果が算出されている	単位事業費当たり製造コスト低減額（付加価値向上額）の大きさ
	投資回収の適正性	—	適正な投資回収と補助金の効果
	CO ₂ 排出削減量	—	CO ₂ 排出削減量の大きさ
	工事計画の確実性	工事計画が示されている	工事計画の妥当性
3. 将来性	将来像の明確化	将来像が示されている	将来像の明確さ及び目標の高さ
	ロードマップの策定	ロードマップが策定されている	実現の可能性の高さ
4. 経営方針	応募事業の位置付け	経営方針において、応募事業の位置づけが明確である	経営方針における重要度の高さ
5. 地域説明・理解・協力	説明・理解・協力	地方自治体等で説明し理解が得られている	地域の理解・協力度合い

3. 補助対象事業の選定結果

今回、予算の範囲内において以下の事業が選定されました。この事業は、コンビナート連携により、石油精製業を中心とする連携設備の効果的設置を行うことで、石油資源の高度利用を図り原油処理量を減らすことを通じ、エネルギーセキュリティを確保するとともにコンビナートの競争力強化に寄与するものです。

平成23年度のコンビナート連携事業の補助金予算は、36億円（業務管理費を含む。）です。当年度は、平成22年度に開始した事業に加えて、今回選定された事業が実施されることとなります。

番号	事業の名称 事業者名、事業期間《実施場所》	実施内容
1	コンビナート重油分解最適連携事業 ・昭和四日市石油(株)、三菱化学(株) ・平成23～25年度 《三重県 四日市地区》	昭和四日市石油で生産される低硫黄重油を流動接触分解装置（RFCC）に最大供給し、高付加価値の白油と、三菱化学四日市事業所向けのプロピレンを製造する。併せて、残渣ボイラーを活用し、電気・蒸気をコンビナートへ高効率で供給するものである。これらにより、原油処理量の削減、製造コストの低減を図ることができる。

4. 総評

本事業は公募を対象とするものであり、補助対象事業の選定にあたっては、公平性・透明性を基本として審査を行いました。

審査委員会では、前述の評価項目に基づき審査を行いました。選定された事業については、この評価項目を満足しており、目的とする石油資源の高度利用を図り原油処理量を減らすことを通じ、エネルギーセキュリティを確保するとともにコンビナートの競争力強化に寄与することを確認しました。

特記事項は、以下のとおりです。

- ① 選定された事業は、コンビナート連携設備の設置が完成後、原油処理量の削減や留分の高付加価値化により、安定供給と国際競争力強化に寄与するものです。連携設備の設置に関する計画内容が明確であり、また、将来像やロードマップも確実に策定されています。
- ② 本事業は、石油精製と石油化学が相互に連携することで、重質油分解装置関連の設備改造と運転変更により重油分解機能を最大限に発揮させ、白油増産及び高付加価値化学製品生産へのシフトを実現するものです。併せて、残渣ボイラーの活用等、電気・蒸気をコンビナートへ高効率で供給するものです。

- ③ 本事業の原油処理削減量は約7万kl/年と見込まれており、また、石油化学事業の高付加価値製品へのシフトを原料面から実現するものですが、このような石油・石化連携の新たな取組みにより、我が国の製造拠点として特長あるコンビナート構築への変革につながるものです。
- ④ 我が国で余剰傾向にある重質油の活用や設備の効率的活用・高付加価値化に関する本事例のようなコンビナート連携は、今後、各地区の強靱な石油精製を中心とするコンビナート形成にも波及するものと考えています。

四日市地区においては、本格的なコンビナート連携の初めての取組みですが、本事業の実現を契機として、中部圏のみならず我が国のエネルギー安定供給に一層貢献することを確信しています。

更に、このようなコンビナート連携の取組みが各地区においても数多く起案され、震災復興に寄与しつつ将来を見据えた展開につながることを大いに期待するものです。

以上